

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶらうらんどkouminnkanひだか 児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	乳児(0歳児)からの受け入れを行っていること。	食事、午睡、沐浴等、日常生活の保護者の困りごと等々に対応している。	市町村との連携を充実する。
2	食事支援を行っている。	乳幼児、児童、個々に適した道具、いす、机等の環境設定を意識し取り組んでいる。	動画なども活用して職員間で共有し、個々に適したさらに細かい支援を目指す。
3	保護者等の負担を軽減できるように送迎を行っている。	可能な限り、利用しやすい乗降場所を設定し配車している。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子通所でないため、特に場を設定しないと、適時顔を合わせてのやり取りはできていない。	保育園の利用等併行通園しているので、園への送迎が多いため保護者に会える機会が少ない。	親子通所日を充実する。ライン等情報技術の活用を充実する。
2	支援を必要としている乳児の利用が少ない。	事業所のことを知ってもらう機会が少ない。	様々な情報技術を活用し、情報発信を図っていく。
3			